



図書館 だより

図書館 ☎69・3706

「おしえて! 図書館」

Q 読むことで元気になる絵本、励まされる絵本はないか。

A 今回は楽しい気分になれる絵本を1冊選んでみました。

このほかにも児童室の知育コーナーには、いろいろな絵本を紹介するブックガイドがあります。そちらも参考にどうぞ。思わぬ掘り出し物が見つかるかもしれません。

◎ こんな本はいかがですか？



ドオン!

山下洋輔／著
長新太／絵
福音館書店

いたずら者こうちゃんがドン! とたいこをたたくと、オニの子ドンはドンドン!

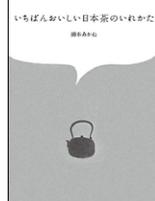
とたたき…お母さんやお父さん、犬や猫や牛もでてきて…愉快なたいこの音がいっぱいに広がる絵本。

Q おいしいお茶のいれ方が知りたい。



A お茶がおいしい季節ですね。お茶のいれ方、飲み方に関する本は軽読書コーナーの「596.7」の「飲み物」の棚にあります。

◎ こんな本はいかがですか？



いちばんおいしい 日本茶のいれかた

やなぎもと
柳本あかね／著
朝日新聞出版

神楽坂の人気日本茶カフェ直伝の極上の日本茶のいれ方を紹介。

ひと手間をかけるだけで大変身。器や和菓子なども紹介。

このほかにも関連する本があります。貸出中の場合もありますので、見当たらない時はお気軽に職員へお尋ねください。

「アシカだつてつらいよ」

■ アシカの表情

竹島水族館ではアシカショーを毎日4回やっているのですが、お客さんとアシカの距離が近い、というかスペースが小さいので必然的に何をどうしても近くなってしまうているのが特徴です。アシカの顔の表情もよく見えるくらいの距離なので、よくアシカの「顔色」を観察してみてください。アシカにも表情があるのでおもしろいですよ。

■ アイの場合

ショーで人気者のアイはいつも眠そうな表情をしています。その顔はあきらかにショーをやるといふよりか「やらされている」という気配が濃厚で正直、見た目やお客さんに与える印象が非常に悪いです。彼女はいかにして手を抜いてショーを終わらせるかに全神経を集中させているので、顔の表情まで構ってられないのです。とにかくラクをして多くのエサをもらいたい。困ったものです。それでも、我々は種目をこなさな



水族館



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎68・2059

いとエサはもらえない、種目をこなす代わりにエサをあげます、という固い契約をお互いの間で交わっているのです。契約に反しないレベルでアイは毎日ショーを頑張るわけです。しかしその表情は完全に「やる気がない」です。「やれやれ、まったくもう」「エサで私を動かすのもいいかげんにしとけよ」という表情の時がよくあるのですが、ショーの最中でこちらの集中力が削がれる場合があります。

■ 誰だつてラクしたい

「アシカやイルカはショーを楽しむながらやっています！」と水族館では笑顔で飼育員さんが解説していることが多いですが、中にはいやいや仕事や学校に行くお父さん、子どものように仕方がなく

やっているアイのようなアシカもいます。アイを見て「アイツも頑張っているからオレもまた明日から頑張るって仕事すっか」という気持ちになってもらえればありがたいですが、誰だつて仕事せずにお金が欲しい、勉強せずに頭がよくなりたくない、ラクしてお腹がいっぱいになりたい、それは同じです。しかしそれでは楽しさは少なく、体のどこかが悪くなってしまうようになってしまふ気がします。アシカショーと同じかそれ以上の展示効果があり、お客さんがアシカの魅力を存分に楽しんでくれることができ、なおかつアシカも楽しくて健康に暮らせる方法があれば、私は今すぐアシカショーをやめたいと思っています。